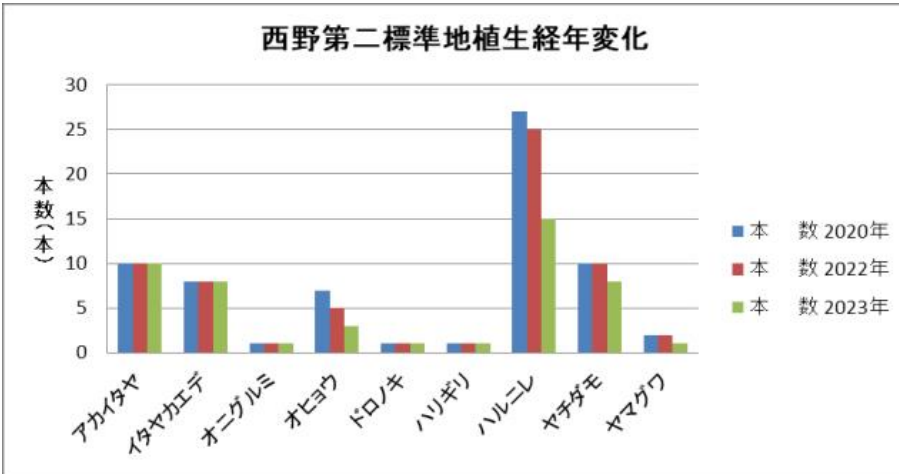


西野第二都市環境林の植生調査

2023/8/20

西野第二標準地植生経年変化



ここは2004年の台風により、ニセアカシアを中心に大きな倒木被害が発生し、その再生活動を行ってきました。育林活動は途中の中止を経て2020年から再開し、笹刈り、枯損木、傾斜木などの危険木整理と標準地設定、植生調査を行っています。

調査結果の図を示します。

樹種数は9種でオヒョウ、ハルニレがシカの食害により枯死して本数が減少していますが、他の樹種の変化は少ないと考えます。

ha当り本

数は食害により減少傾向ですが、1,200本となっています。

ha当り材積は細い樹木が多いので200m³と澄川環境林の平均250~350m³より少ないと言えます。

ここではシカの大好きなニレ科に被害が集中し、直径が15cm程度以下、皮はぎの被害は地上から3mに達していることが注目され、最近行っている食害防止ツリーシェルターの設置高さ、設置年数に大きな示唆があると考えます。

もうしばらく経緯を観察していきたいと思えます。

(文・檀棒)

西野第二標準地経年変化

